

現況における 下水道管きよ被害率

想定地震：東京湾北部地震(M7.3)
冬・時間18時・風速8m/s

地震被害シミュレーションは、地震の規模や震源地、発生時刻や風速など、一定の条件を設定して行った想定の一つです。

実際の首都直下地震の被害は、今回の想定結果と比べて小さい場合もあれば、大きい場合もあります。この結果だけにとらわれず、大規模な地震に備えていくことが大切です。

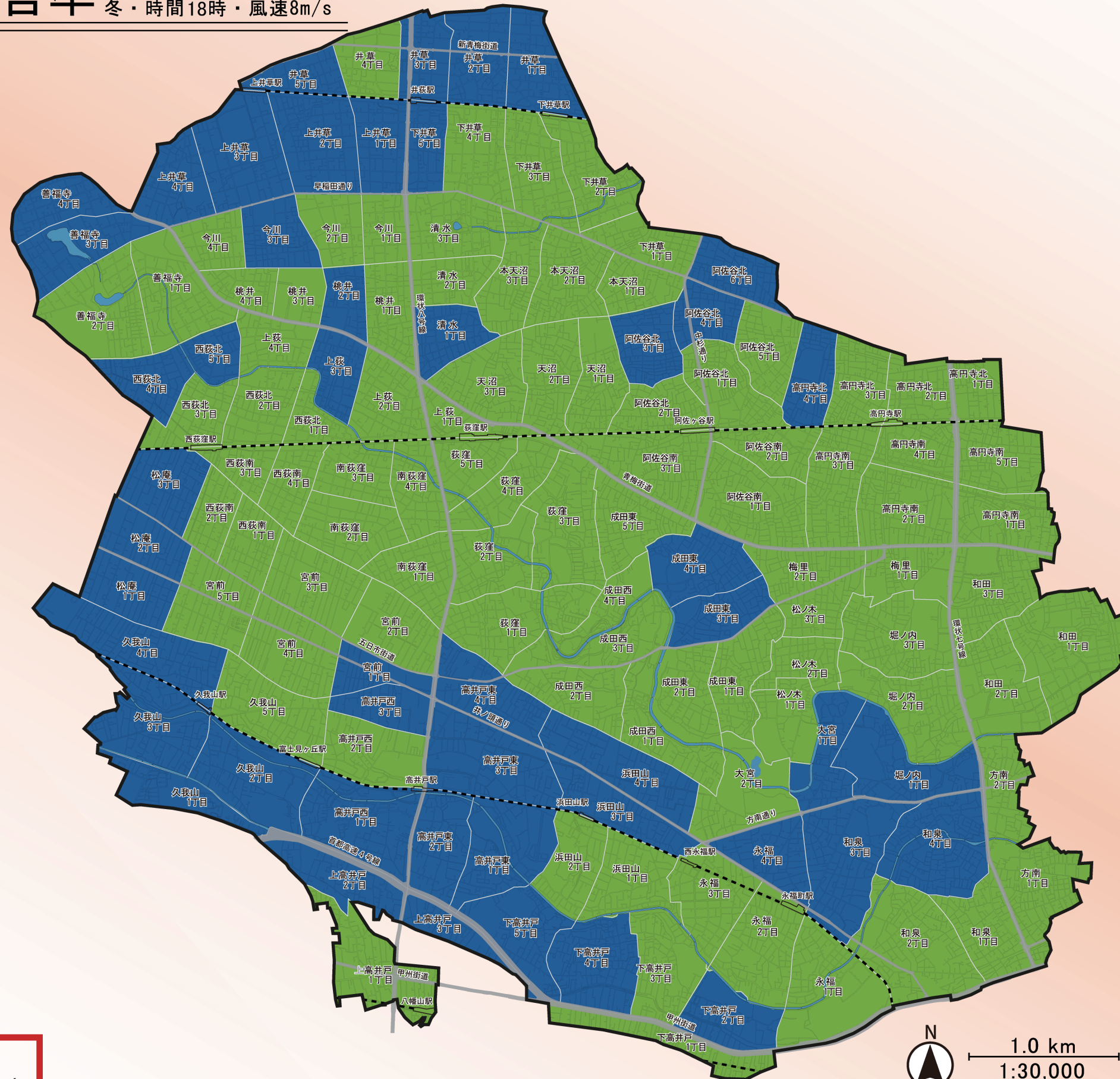
現況被害想定

地震が発生したら…

区内の下水道管きよ被害率は、

21.7%

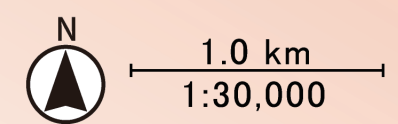
揺れが強く、液状化の可能性のある地域については、下水道管きよの被害率が高くなるというシミュレーション結果となっています。



凡例：町丁目別
下水道管きよ被害率

- 20-40%未満
- 0-20%未満

今回のシミュレーションについても、平成 28 年度の調査同様、杉並区全体を 50m メッシュ (50m×50m) 単位で区割りして被害想定を行ったうえで、その結果を町丁目単位で集計し評価することにより、被害想定結果をより身近なイメージとして分かりやすくお示しただけのように示しています。



※(参考：復旧目途)^(※2)
東京都被害想定：1 か月以上

(※1) 現況：平成 28 年度の地震被害シミュレーション（建物被害編）の結果及び平成 28・29 年度のライフライン設備等のデータをもとにシミュレーションしています。
(※2) 復旧目途については、「首都直下地震による東京の被害想定（平成 24 年 4 月）」を参照。